

ご自由にお持ち帰りください



公益財団法人 宮城厚生協会

# 坂総合病院

## NEWSaka

2016.4  
No.6

発行責任者：坂総合病院院長 内藤 孝



### まずは自ら健康づくりを

毎日の朝会時と毎週火曜日17時に  
リハビリ室ではスタッフ全員で  
ストレッチをしています。



- 1 まずは自ら健康づくりを(リハビリ室体操風景)
- 2 リハビリ室学習会「地域包括ケアを具体的に学ぶ(3/10)」
- 3 医師によるミニ講演会(3/17) 佐藤美希医師(在宅科)  
佐藤孝洋医師(産婦人科)
- 4 講演会「福井県済生会病院の人づくり・仕組みづくり(3/18)」
- 5 「2015年度患者満足度調査結果」のご紹介
- 6 健康豆知識「身体活動と消費エネルギー」
- 7 14卒臨床研修修了証授与式(3/24)  
登録医会のお知らせほか
- 8 インフォメーションなど

#### 病院理念

わたしたちは、患者さまの権利を尊重し、  
**共感・協同・平等・安全の**  
医療をめざします。



## 「坂総合病院リハビリテーション室学習会」開催

◇テーマ：「地域包括ケアを具体的に学ぶ  
～リハビリ職種に求められる役割は～」

◇講師：三浦 禎氏

(宮城県保健福祉部長寿社会政策課地域包括ケア推進班技術主査)



### 地域包括ケア意識し自分たちの 役割果たしていきたい

リハビリ室室長  
中塩 加久子



司会進行の中塩室長

3月10日(木)13時30分～14時50分まで、坂病院リハビリ室で地域包括ケア学習会を行ない、地域他事業所からPT2名OT3名など他職種も含め約90名が参加し、三浦禎氏(作業療法士)に標記テーマで講義していただきました。

はじめに、富山陽介副院長(リハビリ診療部長)があいさつし、現在当院でも在院日数の短縮等に取り組まれているがなぜなのか、どのように取り組んでいくべきかについて学ぶ必要があると述べました。



あいさつする富山副院長



フロアーとの質疑応答も

### 少子高齢化社会対応のため地域包括ケア必要

講義冒頭三浦氏は、地域包括ケアは少子高齢化する社会へ対応するために必要であることを説明されました。

リハビリ職種に求められる役割は大きく「退院支援」と「介護予防」であり、退院支援では特に、ケアマネージャーさんとのコミュニケーションの重要性について、病院リハビリ職員の態度はどう見えているかの心構えから、提供されるべき情報は生活機能の予後予測を踏まえ、具体的かつ分かりやすい表現で行なう必要性を講師の経験を織り交ぜ紹介いただきました。



お話しする三浦氏

介護予防に関しては、要介護状態に陥る要因に関する指導が適時適切に行なわれるよう知識・技術を発揮してほしいこと、その際は地域のみなさんが理解できて続けられることが大事であると述べられました。

#### 参加者の感想から

「地域包括ケア」を具体的にイメージできた。地域をあげて障害者・要介護支援者にとどまらず高齢者の元気に取り組めたらと思った。中には、今後の退院支援が「自宅へ」という方針が増え求められる中でリハ職の意見やアドバイスはとても重要だと思うし…「地域につなぐ」ことをできるだけスムーズに同じ認識・目標を持ちながら連携していきたい。といったケアマネージャーさんからの前向きな感想もありました。

民医連事業所の地域包括ケアを意識し自分たちの役割を果たしていきたいと思います。

## 「医師によるミニ講演会」開催

3月17日（木）の午後の全体学習会は、セミナー室において、約50名が参加し「医師によるミニ講演会」が開催され、二名の医師から報告されました。

◇テーマ：「内地留学報告  
～岡部医院（名取市）での在宅緩和ケア～」

◇講師：佐藤 美希 医師  
（在宅科科長）



**安心して医療を受けられる  
「チーム在宅」をめざしたい**

はじめに、在宅医療との出会いについて、緩和ケア病棟研修がきっかけとなったことが話されました。

そして、在宅医療が病院医療と全く違う点として「日常性を継続し続けること」「生活の場に医療・介護・看護があること」「自由が認められる場所」「生活の匂いと音と空気」など述べられました。研修先の岡部医院の紹介（常時100～120名の

在宅がん患者、神経難病患者、良性疾患のホスピスケアを提供している在宅専門のクリニック）がされ、そこで、2013年4月から2014年12月までの研修内容概要（その後他施設でも研修）が紹介されました。在宅での緩和ケアや疼痛対策や看取りの事例などが紹介されました。

最後に坂病院の在宅医療状況も紹介され、これからの抱負として、地域も含め安心して医療を受けられる「チーム在宅」をめざしたいと述べました。

◇テーマ：「周産期医療出生前診断についてのトピックス」

◇講師：佐藤 孝洋 医師  
（産婦人科医長）



**診断はゴールではなく両親に寄り添っていくことが大切**

晩婚化、高齢妊娠という状況が増えており、初期診断を求める患者のニーズが高まっていることが報告されました。そして、女性の年齢と子どもの染色体異常のリスクについて説明があり、胎児形態異常の発生率として、先天性異常が新生児期で3.5～5%であることが報告されました。

出生前診断でのスクリーニング検査について、基本的には適応を35歳以上などとして、絨毛検査、羊水検査、血清マーカー

のこと等など説明されました。

妊娠初期の超音波形態診断の利点にふれ、胎児の何が見えるか（鼻骨、静脈管、三尖弁逆流、顔面角など）の説明がありました。

出生前診断について、全てを知らずに出産するのは危険であり、最終的には患者の決断を尊重すること、診断はゴールではなく、胎児異常が判明した場合は両親に寄り添っていくことの大切さが述べられました。



◇テーマ：福井県済生会病院の人づくり・仕組みづくり  
「病院の差は働く職員の差」

◇講師：登谷 大修 先生（福井県済生会病院院長）

## 患者満足度の高い 「職員が生き活きと働ける病院」を目指して

坂総合病院事務局次長 佐藤 裕美

3月18日(金)の夜、病院2階教育ステーションにて、医師8名を含む48名が参加し、標記テーマで、講師に福井県済生会病院の登谷大修院長をお招きして、病院管理部主催の講演会を開催しました。

### 福井県済生会病院概要

福井県済生会病院は460床1200名の職員を有し、大規模病院としては初めて「日本経営品質賞」を受賞した患者満足・職員満足の極めて高い病院で、その他に病院機能評価、ISO9001、働きやすい病院「ホスピレート」認証、「ワークライフバランス大賞優秀賞」、「カエルの星」認定など病院の質・経営の質・労働の質に関わる様々な認証を受けています。

2年前に就任した当院の内藤孝院長が、外部の経営セミナーに参加する中でこれらの取り組みを知り、「職員が生き活きと働ける病院」を目指したいとの思いで取り組んできましたが、今回はぜひ登谷先生のお話を直接職員にも聞いてほしいと講演会開催の運びとなりました。

福井県は全国都道府県ランキングで「どこにあるかわからない県」の第2位（ちなみに1位は内藤孝院長の出身地の島根県）、しかし「幸福度」は第1位、とのお話から始まり、1時間半にわたり、パワフルにお話して下さいました。

### 病院を一番知るの現場の職員という 考えで方針掲げ実践

同病院は診断能力で信頼される病院を目指して、1977年に日本で2番目に全身CTを導入するなど最新の医療技術を導入して急成長した反面、患者満足・職員満足の低下や部署間のセクショナリズムなどの弊害が表面化し、前院長が病院変革に着手しました。病院を一番知るの院長でなく現場の職員という考えで、

- ①方向性が一致し自律した職員の養成（現場の目線から病院を変える）
  - ②フラットな組織による医療の実践（働きやすい職場と権限委譲）
  - ③変わり易い仕組みの構築（量より質の改善）
- の3つの方針を掲げました。

### 「患者さんの立場で考える」

講演会参加者の過半数が当院も参考にすべきとしたのは①でした。方向性＝基本的価値観（職員の判断基準）「患者さんの立場で考える」を職員が理解・納得・共感し、実践するため、電子カルテ端末の職員ポータルサイトやデジタルサイネージの活用による医療安全・経営情報から福利厚生に至るまでのリアルタイムの情報共有、価値観共有するためのワールドカフェ、モチベーションの高い職員に学ぶ感激レポート、理念を実践した職員の表彰制度、理念を優先した階層別研修など、様々な取り組みが紹介されました。その他、同病院独自のSQM（済生会クオリティマネジメントシステム）、SWOT分析やBSC、ISOなど改善の仕組みづくりなども紹介されました。



講演会会場風景

「病院の差は働く職員の差」という言葉に込められたのは「様々な新しいサービスやハード面を真似することは容易だが職員を真似することは簡単ではない。職員文化こそが病院の価値」ということ。大きなテーマですが、参加者の感想文に当院の課題として寄せられた意見とともに改めて見直して考えていきたいと思います。

# 「2015年度患者満足度調査結果」のご紹介

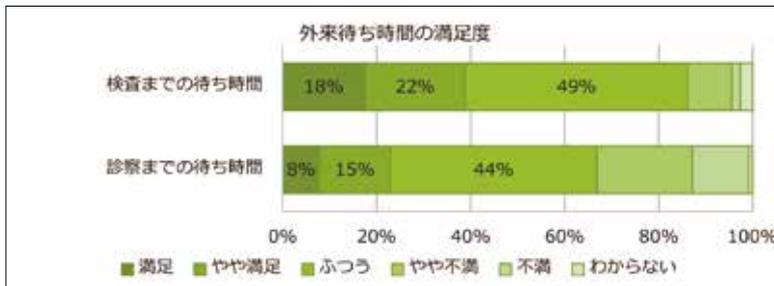
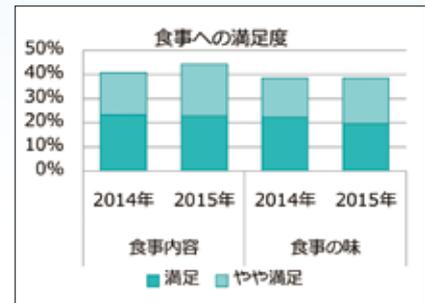
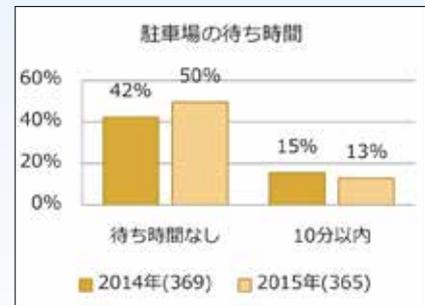
## ● 調査概要

〈入院 坂総合病院〉

◆調査期間：2015年10月1日（木）～11月6日（金） ◆回答者数：318人

〈外来 坂総合病院・坂総合クリニック〉

◆調査期間：2015年11月10日（火）～11月12日（木） ◆回答者数：643人



今年度の満足度調査結果のうち「全体的な病院に対する満足度」と「当院を家族や知人に推薦できるか」について、入院調査は両結果とも80%以上となっていますが外来調査ではどちらも約70%となっています。「食事への満足度」につきましては、毎年厳しい評価となっていますが今年度は食事の内容についてわずかですがよい評価となりました。

外来での「診察や検査までの待ち時間」につきましては、満足、やや満足と回答した割合が40%以下となり他の結果と比較して満足度が低くなっています。

「駐車場の待ち時間」は、増改築が終了し昨年と比較して「駐車するまでの待ち時間なし」の割合は42%から50%と高くなりました。

当院では、医療サービスおよび医療の質向上のため、患者様から当院に対するご意見をお聞きし、問題点を改善するために年1回「患者満足度調査」を実施しています。本調査で得られた結果をもとに課題を改善させることで、全体の満足度向上に繋げ、より一層みなさまに信頼される病院となるよう取り組んで参ります。調査にあたってご協力いただいたみな様にお礼申し上げます。



「身体活動量(運動量)」の計算に関するお話です。下記に示した表と計算式を用いて「消費エネルギー量 (Kcal)」を算出するのですが、計算というと、ちょっと難しそう…とお考えになった方も多いと思いますので、実例を交えて詳しくご説明いたします！

まず身体活動は、その内容によって「運動」と「生活活動」に分けられますが、運動はスポーツを含めた「意図的に体を動かす活動」のことを指し、生活活動は「日常生活における動作」のことを指します。計算したい身体活動が、どちらの項目に該当するのか、表でご確認ください。

それから、表の左端の欄に記載されている「メッツ(活動の強さ)」についてですが、身体活動の強さを、安静時の何倍に相当するかを表した単位で、座って安静にしている状態を1メッツ、普通の歩行(時速4km前後)が3メッツに相当します。計算する身体活動の強さが、何メッツになるのか、表をご覧ください。

いよいよもって計算です。体重60kgの方が、速歩き(時速4.8km)を30分行ったと仮定します。表の下の計算式に当てはめて算出しますが、次の行がその計算です。

※ $1.05 \times 4 \text{メッツ} \times 0.5 \text{時間} \times 60 \text{kg} = 126 \text{Kcal}$ の消費

計算上ご注意くださいのは「時間」に関してですが、30分運動を行った場合は「0.5時間」、15分行った場合は「0.25時間」、1時間の場合は「そのまま1時間」を当てはめて計算します。

生活習慣病の予防・改善、寝たきりの予防には、身体活動量を増やすことが重要です。仕事や家事で忙しく時間のない方、運動に慣れていない方などは、まずは無理をせず、日常生活の中で「生活活動量」を増やすことから始めてみましょう!!

## 身体活動と消費エネルギー

メッツ (活動の強さ)	身体活動			体重50kgの人が 下記の時間活動 したときの消費エ ネルギー (Kcal)	
	歩く～走る	運動	生活活動	20分	1時間
3	普通歩行 (時速4km) 犬の散歩	固定式自転車こぎ(50ワット)、一般的な筋力トレーニング(軽・中等度)、ゴルフ(打ちっぱなし)、社交ダンス(ゆっくり)	一般的な大工仕事、一般的な家の掃除、立位での子どもの世話(活動中のみ)	53	158
3.5		ゴルフ(カート使用)	幼児や荷物(6.8kg程度)を運ぶ	61	184
4	速歩 (時速4.8km) 通勤・通学	サイクリング(レジャーとして、時速16km以下)、水中運動、卓球、太極拳、バレーボール(軽い)	一般的なガーデニング、子どもと遊ぶ(歩く・走るなど、ややきつく感じる動作、活動時のみ)、高齢者や障害者の介護(活動時のみ)、屋根の雪下ろし	70	210
4.5		バドミントン、ゴルフ(カート不使用)	苗木、樹木の植栽、庭の草むしり、庭の手入れ	79	236
5	速歩 (時速6.4km)	テニス(ダブルス)、ソフトボール、野球、ローラーブレード	子どもと遊ぶ(歩く・走るなど、きつく感じる動作、活動時のみ)	88	263

$$\text{消費カロリー (Kcal)} = 1.05 \times \text{メッツ} \times \text{時間(時)} \times \text{体重(Kg)}$$

# 14卒臨床研修修了証授与式

## たいへんよくできました！ みんなで祝う！

3月24日（木）の夜、クリニック1号館8階で14卒臨床研修医8名の「臨床研修修了証授与式」が行われました。

2011年度から行われており、今年で5回目の開催となり、60名の職員が参加し祝いました。

はじめに、阿南研修管理委員長より講評も含めあいさつがあり、8名の研修医が2年間の必修課程の修了認定を了承したと述べられました。

内藤院長の祝辞と久慈医局長の乾杯あいさつ後、研修修了証授与と研修医のスピーチが行われ、2年間の思い出や指導医・上級医への感謝、今後の抱負など語られました。



一人ひとりが修了証を授与されました

職時に書いた自分への手紙の朗読では、参加者から驚きの声と爆笑があがり会場は大いに盛り上がりました。また、記念品として、毎年恒例となったアルバムが贈られました。

後輩からの送辞および14卒代表の答辞が述べられました。

## がんばった8名に大きな拍手

渡部研修委員長の閉会あいさつでは、支え合い挫けずがんばった8名に対し、これからも同期のつながりを長く続く関係として大切にしてほしいと述べられ、参加者から激励の拍手が送られました。



8名の修了者を囲んで

## 自分への手紙朗読に会場盛り上がる

2年間の研修を振り返るスライドビデオ上映と入

## 「坂総合病院登録医会」

開催のお知らせ

2016.5.27 FRI [金] 18:30 ~ 21:00  
ホテルグランドパレス塩釜

### 地域医療連携センターから

#### ○紹介の状況

	紹介数	逆紹介数
2015年11月	696	704
12月	557	721
2016年1月	499	635
2月	518	701

(坂総合病院、クリニックの合計数です)

○ご紹介の際は、地域医療連携センターまでご連絡下さい。  
※坂総合病院・坂総合クリニックは予約診療を行なっています。

お気軽に地域医療連携センターまでお問い合わせ下さい。  
尚、緊急性の高い症状の場合や入院加療も含めての診療ご依頼の場合は、お電話にてその旨をお知らせ下さい。

#### 《開設時間》

●平日 / 8時30分～17時 ●土曜日 / 8時30分～12時30分

**TEL 022-361-4700**

※時間外休日は、救急処置室に繋がります。

運動施設のご案内

## メディカルフィットネス のびのび



病院の中にある運動療法施設です。医療スタッフがいつも近くにいるので安心です。随時見学・無料体験も行っております。お気軽にお立ち寄りください。

家族会員割引制度あります!! 詳しくはお問い合わせ下さい。

- 高血糖、高血圧症、脂質異常と診断されている方
- 脳血管障害や整形疾患、心疾患などでリハビリを必要としている方
- 体力に自信がない方や高齢者の方
- 医師から運動を勧められている方
- 日頃から運動不足を感じられている方
- その他、今は健康だけど病気になりたくないと思っている方でも!!

私たちと一緒に運動療法を始めてみませんか?

厚生労働省認定健康運動指導士が、一人ひとり丁寧に指導いたします。

### 諸費用

会員種別	月間利用料	年間登録料
一般会員	5,940 円	2,160 円
友の会会費	4,860 円	

### 営業時間

会員種別	時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
午前の部	9:00 ~ 12:30	○	○	○	○	○	○	×
午後の部	14:00 ~ 17:00	○	○	○	×	○	×	×
夜間の部	17:00 ~ 21:00	○	○	○	○	○	×	×

申し込み先・お問い合わせ先／坂総合クリニック 1号館 6階 TEL 022-361-7011 (内線2515)

### コールセンターから

○診療の予約・変更・お問い合わせは、コールセンターで承ります。

TEL 022-361-8288

平日 (月～金) : 8時30分～16時30分  
(小児科のみ8時から開始)

土曜日 : 8時30分～11時30分  
(小児科のみ8時から開始)

※紹介状をお持ちの方は必ずその旨をお伝え下さい。  
※上記時間以外で救急診療のお問い合わせは、病院代表番号にお電話をお願いします。



- 電車をご利用の場合  
JR仙石線・下馬駅下車 (駅前が病院です。)
- お車をご利用の場合  
以前に比べて第一駐車場が狭くなりました。ご不便をお掛けしますが、第三駐車場に駐車し、送迎バスをご利用いただけるようご協力お願いいたします。

### 編集後記

東日本大震災から5年が過ぎました。あちこちで復興に向けて様々なイベントが開催されましたが、遅々として進まない状況もあり、地域によってかなり格差があります。政治の優先順位が間違っている感じがします。

さて、今号では、患者様に安心・安全そして満足していただける医療を提供できますように、各部署の取り組みや他病院や行政の方を招いての学習会などを取り上げました。また、患者様の満足度調査なども定期的に行い、ご指摘のありました不備な部分は極力改善し、今後とも信頼していただけるよう努力してまいります。よろしくお願いたします。(1)

公益財団法人 宮城厚生協会  
坂総合病院

〒985-8506 宮城県塩釜市錦町16-5  
電話 022-365-5175 (代表)  
FAX 022-365-3620